

◆インターネット活用教育実践コンクール実行委員会賞◆

〈学校教育部門〉

「生きる力を育む学習活動の工夫」

埼玉県秩父郡両神村立両神中学校

〒368-0201 埼玉県秩父郡両神村大字薄2900

■実践事例報告の概要

総合学習、職業体験では、全生徒がレポートを作成し、パワーポイントで発表できるようになった。また、中高一貫連携高校とのテレビ会議による合同研修会や、生物環境での交流学习を行った。社会科では、沖縄の学校と地域の祭り・方言などの交流授業を行った。これらにより、IT活用は日常的になり、教員および生徒の活用能力が飛躍的に高まってきた。また、学校のホームページの更新も早まり、学校行事の様子等が即座にアップされるようになった。

実践のねらい

ITを効果的に活用することにより、本校で全職員の力を結集して取り組んでいる「生きる力の育成」の一層の推進を図る。さらに、本校の特色である「総合的な学習の時間（若鮎タイム）」「中高一貫連携教育」「進路指導」「中国との生徒交流」「ITを用いた教科等の学習」等の一層の充実を図ることをねらいとした。

特徴・工夫・努力した点

- ①本校の特色（上記）をITを活用することで一層充実させる。
- ②ITを効果的に活用することにより、教科等の指導を充実する。
- ③上記の①②を達成するために、総合的にITを活用していく。

実践内容

1. 「開かれた学校づくり」に資するため、学校のホームページには、その日にあったことはその日のうちにアップしてきた（年間約1,500枚の写真に掲載）。

2. 若鮎タイム、職業体験学習では、実地調査の写真等やネットで調べたことを一太郎でまとめてレポートにし、それを要約してパワーポイントで発表するなど、総合的なIT活用を図ってきた。また、テレビ会議で、さいたま市立宮原中学校（写真1）と合同発表会を行った。
3. 中高一貫教育では、赤堀侃司先生等の著名人を招いて連携高校とのテレビ会議による合同研修会を行った。また、環境教育では、中学生が高校の化学の先生にテレビ会議で質問したり、両神山の植物名を知るために、高校の生物クラブにデジカメ写真をメールで送り、テレビ会議で話をしながら名前を覚えてもらったりした。
4. 教科では、社会科で沖縄の上山中学校（写真2）とテレビ会議で、地域の祭り、郷土料理、方言などの交流学习を行った。また、数学では本校の自作ソフトを用いたシミュレーション学習を行った。さらに、英語、理科ではデジタル教材の作成も行った。
5. 生徒会本部では、さいたま市立宮原中学校とテレビ会議で情報交換を行った。

実践結果

1. 学校のホームページは、3人の連携プレイが



写真1・宮原中学校との「総合学習」の発表会



写真2・上山中学校との社会科での交流授業

定着し、その日にあったことはその日のうちにアップしている。修学旅行やキャンプでは携帯電話で撮った写真を学校に送り、直ちにアップした。写真を多用したホームページであるため、保護者からは「学校の様子がよくわかる」と好評である。また職員は、行事の際に、まず前年のホームページを見てから立案するなど、学校の教育活動のよい記録アルバムとなっている。

2. 全生徒がパワーポイントを用いたプレゼンテーションができるようになった。その結果、「若鮎タイム」をはじめ、様々な発表学習が充実してきた。さらに、「中高一貫入試」の面接では、「中学時代に学んだこと」をパワーポイントで発表した生徒が多数出た。
3. テレビ会議を利用した中高一貫高校との合同研修会は好評であった。また、テレビ会議を用いた授業は、生徒に非常に好評であった。それにより、職員が触発され、今後、海外の学校とテレビ会議を行いたいなどと意欲をかきたてられている。
4. 全生徒のIT使用技術が向上し、ネットで調べ、デジカメ写真を貼り、自分の考えをまとめてレポートを作成することができるようになった。その結果、学級活動、生徒会活動、教科の調べ学習などで日常的にそれらの力が活用されている。
5. 教員がデジタル教材を作成しようとの意欲も見られ、理科、英語、数学などで自作教材作成

の取り組みが行われている。

考察（今後の課題）

1. 学校のホームページの更新は、現在3名の職員の連携で行っている。まだ、生徒の参加によるホームページ作成が少ないので、今後はさらに充実していきたい。
2. 全生徒がパワーポイントを使えるようになったが、まだ見やすさという点で難がある。今後、見やすい画面構成、配色、アニメーション効果などについて指導していきたい。
3. 生徒のデジカメ写真を見ると、構図が悪かったり、撮る位置が悪かったりするなど、見やすさという点で難がある。今後は「写真教室」を開催するなど、見る人に訴えかけるよい写真が撮れるように指導していきたい。
4. テレビ会議システムをもっと日常的に使えるように環境整備をしていきたい。
5. 教員あるいは生徒の自作教材づくりをもっと推進していきたい。
6. 教科学習の中でNetMeetingやMessengerなどの活用に取り組み、ノウハウを蓄積していきたい。
7. 生徒がネットで被害に会わないように、ネット安全教育（含ルールやマナー）を推進し、ネット利用時の安全能力の育成に取り組んでいきたい。